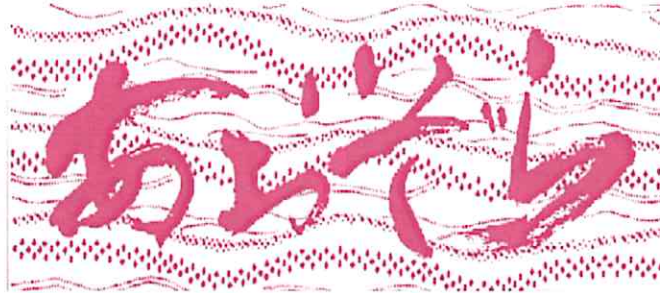


有秋地区人口

世帯数：6,169世帯
 人口：14,565人
 男：7,579人
 女：6,986人
 平成28年12月1日現在



【発行】
 有秋地区社会福祉協議会

【問い合わせ先】
 姉崎保健福祉センター
 TEL:62-8601



**平成28年度
 有秋地区
 敬老会**

9月19日(月)ア
 ネットサに於いて恒例
 の祝宴が開催されま
 した。

敬老者代表謝辞
 緑園都市にお住いの
 森隆泰さん

敬老会参加者
 男性146名、女性172名、合計318名

有秋地区の敬老対象者(75歳以上)
 男性650名、女性886名、合計1,536名
 このうち100歳以上の敬老対象者
 男性2名、女性5名、合計7名



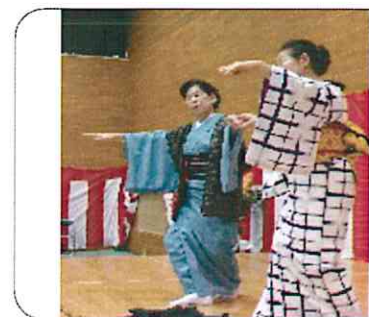
有秋中学校のエイサー(沖縄踊り)
 太鼓の音が会場一杯に響き、感動!



有秋中学校バンドの演奏に合わせて、「ふるさと」を合唱



津軽三味線演奏者
 山下靖彦さん
 (全国大会優勝者)



友情出演
 「美峰会」の皆さん

来年も元気に敬老会
 にご参加ください。

健康増進講座

11月8日支所会
 議室で、高齢者
 健康体操普及員
 により健康体操
 を行った。健康日
 本の健康寿命は
 (健康上の問題
 がない状態で日
 常生活を送れる
 年齢)が71・19
 歳、女性74・
 21歳です。

高齢者健康体操



体をのびのびと伸ばして!



体を丸めて!

健康寿命を延ばす。身近な場所、軽集まれ、皆で体を動かし、健康を維持していきましょう。



バランスのとれた食事で健康長寿を。
 毎月第4水曜日
 公民館2階研修室にて開催。
 参加費300円。
 65歳以上の一人暮らしの方が対象です。
 担当の民生委員まで

会食会



12月のクリスマス会の食事です。

賛助会員加入のお願い

有秋地区社会福祉協議会の事業資金は、市原市社会福祉協議会からの運営費補助金が主なものです。その内訳は、皆様からの住民会費(旧一般会費)・賛助会費・共同募金配分金からなっており、市社協から配分率に応じて補助金の交付を受けております。市の社協ではこの賛助会費について見直しを行って、地区社協が賛助会員の募集を実施して、会費を全額地区社協の財源に充てるものです。地域の皆様にはこの趣旨をご理解いただき、本会の賛助会員としてご支援・ご協力をお願いいたします。ご協力いただける方は、有秋地区社協(TEL:62-8601 アネッサ)へお問い合わせください。

【編集委員】
 大沼 一郎
 前川 邦恵
 東島 光子
 鈴木 利男
 並木 典子
 榎 静夫

今年もまた有り難くない出来事ばかりでした。地震・火山の噴火・台風の上陸・それに長雨と、各地で大きな被害をもたらせ野菜の高騰は家庭を直撃をしました。自然災害に備えると同時に互いに助け合え、地域で心の輪を広げましょう。高齢者の車の運転事故が多発しています。安全運転に心がけましょう。(東島)

編集後記





風船を使用した遊び

今年度より、子育て支援員の名称が「子育て家庭支援員」に変わりました。

活動としては、従来と変わらず年1回の「子育てフェスタ」、4か月乳児家庭訪問」を中心に、有秋支部として年3回の子育て会「ちびっこひろば」を行っています。

子育て家庭支援員の活動紹介

今年度の3回目、2月に行いますので、是非遊びに来てください。是非遊びに来てください。

有秋支部は7名、市内でも最少人数ですが元気がつなぐパイプ役として頑張っています。

月に自由遊び、9月に人形劇を有秋公民館体育室で行いました。また、支援員が作った、「手作りおもちゃ」は毎回好評のようです。

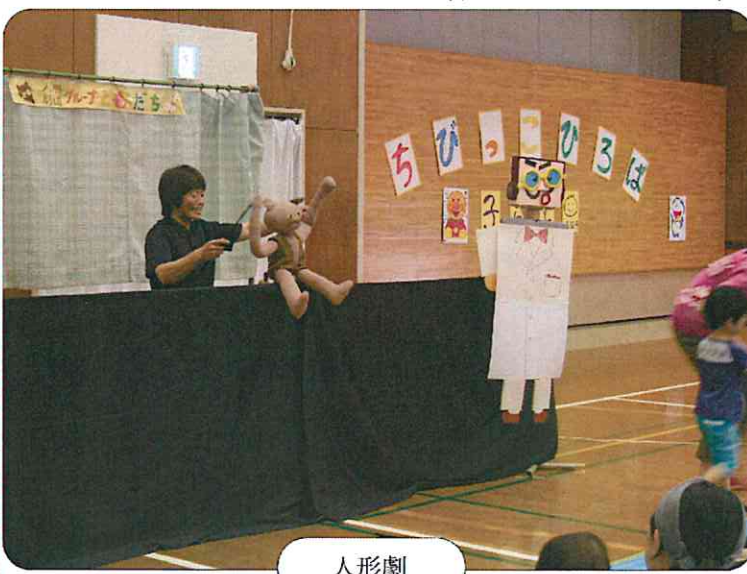
今年度は6月に自由遊び、9月に人形劇を有秋公民館体育室で行いました。また、支援員が作った、「手作りおもちゃ」は毎回好評のようです。

ちびっこひろばの案内

開催日：平成29年2月27日（月）
 時間：10:30~12:00
 （受付時間：10:00~）
 申し込み不要、直接会場にお越し下さい

場所：有秋公民館体育室
 対象：0歳~5歳

○子どもさんのお茶、おやつを用意があります
 ○お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんも一緒にどうぞ



人形劇



親子で体操



自由遊び

福祉バザー

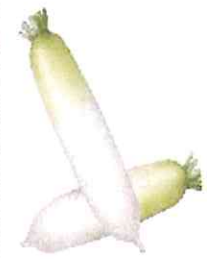
（日）10月30日
 10時~18時
 有秋公民館
 有秋地区福祉バザーが開催されました。

ご協力ありがとうございました



バザー会場

バザー売上 257,011円
 （寄付含む）
 焼き芋売上 19,450円
 合計 276,461円



今年も大盛況な「福祉バザー」となりました。

秋の天候不順にもかかわらず、たくさんの野菜やその他のたくさんのお品を提供していただき、ありがとうございました。

災害に備えて

避難所運営体験



体験参加者

11月12日有秋公民館体育室で、避難所において行政支援が行き届かない状態を想定して、自主運営形式での実務体験を、地区社協と有秋地区3ネットワーク及び公民館との共催で実施した。

朝9時から約80名の参加を得て避難者のニーズについて考え、必要な作業をする。

- ①生活用水の確保
- ②トイレの問題（リアフリー等）



簡易テントの製作

新聞紙の活用
 （身体足の保温・スリッパ・紙の皿・帽子等）

③避難所生活をより快適にする方法
 ④便利グッズの制作



ロープワーク（巻き結び・ねじり結び・もやい結び・本結び・一重つなぎ・ロープ結び等）



オイルランプの製作（サラダ油・テッシュペーパー・アルミホイル・布・ピン）